

五分館だより

第40号
豊丘村公民館
第五分館
編集 社会部
印刷 三晃印刷(株)

堀越の今日
H.14.3.1現在
戸数 92戸
人口 384人

平成十四年堀越区役員流任 自分達の地域は 自分達で守る

区長 田島 悦男

二十一世紀に入って、早くも二年目を迎へました。二十世紀の後半は政治経済を始め、あらゆる社会事象等を含め、めまぐるしいほどの変遷の時代でありました。

あまりにも移り変りが激しく、又物質優先の社会構造であった故に、人心は荒廃し人間本来の貴重なものを忘れてきてしまった。と云はれております。

『夜食足りて礼節を知る』と云われますが二十一世紀は見直しの時代。心の時代。前世紀の反省を踏へて新しい出発が始りつ、あると思います。

一方国を始め地方、自治体ともに財政は極めて深刻な状況にあります。果たして財政再建や、経済の再生は可能となるのか。又地方分権が進むとしても、国からの財源の委譲が見えてくるのか。

そうした中で町村合併の論議も始つてくるであります。こうした状況を考へる時、自治組織である区存在が、今まで以上に重要なものになると思われます。自分達の地域は自分達で守り、更に住み良い地域となるよう頑張らなくてはならないと思います。

優れた歴史や実績を持つ堀越区であります。

区民の皆さんより、多くの御意見を頂きながら委員一同真剣に取り組をしてまいります。

以下十四年度の重点事業を上げてみます。

一、西の宮舞台の修復事業。

(屋根瓦の葺き替と、天井の張り替え)

一、松茸観光事業の取組み。

一、同事業三十周年記念(内容について検討中)

一、堀越のあゆみ発刊(区、団体、経済、文化、教育、その他)

一、道路改良、修繕工事。他通常事業

尚課題として区委員の選出方法についての検討をすることになっております。

区民皆さんの御協力を切にお願い申し上げます。

尚、紙面の都合上割愛をさせていただきます点がございます。

新区役員より

西元 寿

年を増すごとに冬季の寒い期間も短く、春の訪れも早くなりつつある様に思える。

今日、私達をとりまく環境も昔を思うと、大変に変わりつつあり時代の推移と共に人々の生活の知恵とも云ふか、生活に都合のよい、身勝手に作り出して来て、今日に至つてゐる。いや人間ばかりではなく諸動物でもが、異様な行動に出て人を困らしてゐる、それも生活を守る知恵でもあらう。私達の地域は山に囲まれ、

それには緑が豊で清らかな水にも恵まれてゐる。これからを思うに常緑木である松が主をなして山を景つてゐる。その松も失なわれる事となると、それに伴つて水も失われる事となり、様々な変化が生じる事としよう。

武田 良実

行われております。

区民の義務の夫役(ふえき、ぶやくとも呼ぶ)があります。これは賦役の一つで、封建時代には労働の形で払う課役であった。現代は公共の仕事のための労役奉仕になっております。

同じようなものに鑑役(かぎやく)があります。これは人家の自在鉤(じざいかぎ)の数に応じて、所帯別に課せられた賦役であり、鑑役、鉤役、鍵役等の字が使われ、一般には「かんや」と呼ばれております。

当区では神社関係等の仕事に使われております。

越野 渡

この度の区役員選挙により、はからずも総務委員会編集という仕事に携わつてゐる関係上、果して二つの責務を全うできるか、いささか不安であります。老骨に鞭打つて奉公したいと思つております。皆様の協力とご支援をお願い申し上げます。

区民会館大広間の扁額をみますと、和の字が古字であるが「以和為貴」と書かれております。これは聖徳太子が、六〇四年に制定した憲法十七条の条文で「和を以て貴しと為す」と読まれ、和の精神を基本にしております。堀越の区政もこの扁額の精神に則り執り

久保田 一弘

皆さんのご指導、ご鞭撻をいただく中で、自分なりに頑張りたいと思ひますので、よろしく願ひ致します。

区の年間事業、行事計画等を見て感じた事は、出工回数も多い中で茸観光と重なる様な事になると自営、会社員を問わずそれぞれの立場で仕事との両立は大変だと思ひます。委員選出方法の見直し等の意見も総会に提案されていましたが、今後どのような方法に見直されたとしても、選出する人の年令、家族構成、今持っている役割などを考慮しお互いに納得のいく適任者を選んでいくことが大切ではないかと思ひます。

福島 昭治

まだまだ未熟者の自分が、区の役員なんていう器ではありません。しかし選挙区で決まった以上は、二年間一生懸命でやる事だと思ひています。わからない事ばかりで、オドオドするばかりの毎日です。先輩の皆様方から、数多くの御指導を受け、又自分でわからない事不安な事など聞いて、一つ一つ覚えて行きたいと思ひます。そしてこの二年間、しっかりと色々な面で勉強させてもらいたいと思ひます。どうか、御指導よろしく、願ひ致します。

心身共にリフレッシュ

当日の競技は久々のソフトバレーボールです。公民館本館のバレーボール大会にも昨年は出席させていたできましたし、ソフトバレーボール自体も自分ではちよくちよくやっているような気がしていましたので、

なくならない不法投棄・ポイ捨て

堀割から黒谷線全線、広



最近体力の衰えを感じ初めてきましたので、準備運動は十分に行って望んで良かったなと実感した次第です。

試合については、各試合とも必ず一セットは「ジュース」になるといった接戦ばかり、プレーをしていても、見ていても非常に楽し

私が所属させていたたい
たチームは見事全チーム中
一位になることが出来まし
た。勝因はなんと言っても

「チームワーク」といいた
いところですが、周りのチ
ームの皆さんの評価は、
「実力はどんぐりの背比
べ」で、「勝因は声の大き
さ」だと言われてしまいま
した。・・・

凜とした冷たい空気を肺
いっぱい吸い込んで行つ
た、「冬季スポーツ大会」
心身共にリフレッシュをさ
せていただきました。最後
になりましたが、運営に携
われた分館役員の皆さん、
大変お世話になりました。



黒谷箋

今年もお別れ会が無事終了しました。これをもつて育成会の一年間の行事が終了したことになります。育成会行事の主体が、第五分館から小中PTA役員に引継がれて四年になりました。お別れ会は、朝九時より子供たちによるゴミ拾いの奉仕活動から始まります。

上垣外・中宮横道
東・堂平・駒沢切山沢線

胡桃沢線

と三班に別れて、空缶等の
ゴミを収集します。今年は
なんと胡桃沢線で自転車を
回収しました。

その後お食事会。今年は
ちらし寿司とお吸い物、マ
カロニサラダとデザート。
中学一・二年生とPTA役
員が調理しました。

そして卒業生のお別れ会
中学生三名、小学生九名が
卒業です。入場行進をして
記念品（図書券）の授与。
後輩への一言。今年は、「み
んな、勉強がんばって」が
多かったです。

最後は、ビンゴゲームで盛り上がり、午後一時三十分終了、解散しました。
役員の皆さんご苦勞様でした。



春が来ました。今年はずくらの開花が例年になく早く、気象庁のさくら開花予報の基準となるさくらの花が、予報を始めてから最も早く咲いたそうです。

堀越区のお祭りが、四月十三日、十四日に予定されていますが、お宮のさくらはどうでしょうか、楽しみです。

ところで、杉花粉の猛威も例年になく活発だそうでは悲しい季節です。私は七年前の春のある日、突然、花粉症に苦しめられようになりました。私の場合、だいたい三月頃から五月末までの三ヶ月間、症状が続くのですが、今年はなんと二月二十日から始まってしまいました。原因となる杉花粉は、だいたい三月初めから舞い始めるそうで、お彼岸ころになると、今度は桜花粉が舞い始めるそうです。東京ではさくらが満開だとか。ここ堀越では梅の花が満開になっています。

春は花がいっぱいで一年で一番華やかな時期ですが農家にとってはこれからが本番。卒業・入学・就職と何かと忙しい時期でもあります。ですが、楽しむ心も忘れず

武田 伸洋